

## 令和4年度事業報告

### 1-1 概況

コロナ感染症対応も3年目に入り、引き続きの予防対応と感染者への配慮を求められる一年であったが、これまでと異なり落ち着いた対応が可能となっている。

幸い、学園内でのクラスター等はなく、授業も対面授業を中心に行うことができた。

コロナ禍による入国制限は緩和され、留学生（日本語科）の入国が可能となったが、これまでの入国制限の影響により、国際ビジネス科の入学生（日本語科卒業生）は全く見込めず、令和5年の募集は見送られた。

また、留学生対象学科以外の学科で、次年度の入学生確保が前年を下回る学科が多く、コロナ禍で県外への進学を躊躇していた傾向が解消されたと考えられる。一方、既卒・社会人の入学傾向は安定化をたどり、募集に大きく寄与している。また、今後も安定的に入学者確保が可能かとは考えづらく、引き続き、当校独自のアピール要素を確立させての募集広報及び地域における存在感を高める必要がある。

### 1-2 基本方針

誠実・明朗・進取を校訓とし、地域発展の中核となる高度な専門的知識・技能を備え、かつ豊かな人間性と社会人としての教養を身につけた人材を育成する。

### 1-3 教育における重点事項

専門分野の知識と技術の習得・専門能力と実践力を証明する高資格の取得・資格取得への努力、自発的取組による自主性の涵養・幅広い視野とコミュニケーション能力を持つ豊かな人間性の形成・社会人にふさわしい礼節、マナーの育成と、留学生の日本語力向上と日本の文化・習慣を身に付けることに重点をおいた。

### 1-4 学科・コースの再編・充実

学科関係業界の外部有識者を交えてカリキュラム編成委員会を2回実施し、いただいたご意見を基に教育内容の追加変更について反映させた。

### 1-5 学生の募集活動について

令和5年度日本人入学生合計61名（昨年76名 ※国際ビジネス科、日本語科を除く）

少子化・コロナ等の環境変化要因により、日本人入学者については前年比80%となった。

留学生においては、国際ビジネス科は、令和5年度の募集休止により入学者はゼロとなったが、日本語科留学生については、コロナ感染対策による入国規制緩和により4月生・10月生併せて29名の入学者を得ることができた。また、令和5年4月生として現時点で24名の入国許可が出ており（不許可14名、未定11名）、10月生を含めコロナ前の状況に戻りつつある。

#### オープンキャンパス

前年同様、コロナ禍により、内容・時間・設営共に縮小を余儀なくされたが、予定回数全てを実施することができた。社会人対象、保護者対象など対象別による分散開催など様々な工夫を行ったが、参加人数は昨年比91%と減少になった。

オープンキャンパス13回開催

延べ166名が参加（昨年度比91%）

#### 校内ガイダンス及び会場ガイダンス

校内ガイダンス33回 会場ガイダンス7回参加 ※内松本地区2回

学校案内パンフレット・ホームページ及び各科リーフレット

2024 版パンフレット 2,800 部作成 資料請求数 2,748 (昨年比 128%)

※新規広報活動

LINE 広告、オリジナルバッグ等のノベルティグッズの制作

#### 1-6 主な資格取得実績

歯科衛生士国家資格 100%合格・医薬品登録販売者資格 86%合格 ※全国合格率 44%

1 人あたり資格・検定平均取得数 10.1 ※歯科衛生士科・国際ビジネス科除く

#### 1-7 学生の就職について

学内就職ガイダンス キックオフセミナー、保護者対象説明会ほか、各種セミナーはほぼ開催することができた。

学外就職ガイダンスはほぼオンライン開催となり、採用試験等もオンラインで実施する企業も非常に多くなった。時期的には 3 月までずれ込む学生も散見されたが、就職希望者中 95% の学生が就職することができた。

就職状況

歯科衛生士科 100%

医薬サポート科 100%

ICTシステム・デザイン科 93%

国際ビジネス科 78%

日本語科については卒業生はいなかった。

#### 1-8 地域貢献活動

地域中学校へのキャリア教育等出前授業を行った。

他のボランティア活動も、芹田地区公民館での留学生交流会、中学校との外国人交流授業などが再開された。

#### 1-9 教職員の能力向上

研修会参加実績

研修等はほぼすべてがオンライン研修となったが、各科毎に様々なセミナー・研修会に参加し、教員の専門能力のアップに努めている。

資格取得支援制度利用件数 2 件

#### 1-10 留学生の動向

コロナ禍と入国管理局審査の厳格化による日本語科留学生の減少に底を打ち、令和 4 年度は復調の年となった。令和 5 年度の募集も堅調に推移はしているが、数年前までは留学生の大多数を占めていたベトナムからの学生が激減をし、許可率の低いスリランカ、ネパールが中心とならざるを得ない状況となった。しかしながら、令和 5 年度以降の外国人労働者（留学生）政策が受け入れの拡大へと大きな転換点を迎える状況となり、留学生の入国促進が進められる可能性が見えてきている。募集休止となった国際ビジネス科も含め、留学生関係学科の立て直しが本年度の大きな課題となる。

## 2 在学学生数

令和4年度在学学生数（令和4年5月1日現在）

	1 学年	2 学年	3 学年	合計
ICT システム・デザイン科	26	18	-	44
医薬サポート科	21	14	-	35
歯科衛生士科	29	23	23	75
国際ビジネス科	3	11	-	14
日本語科	29	0	-	29
合計	108	66	23	197

内職業訓練生7名

※令和5年度在学学生

62

100

23

185 ※日本語科4月生含まず

## 3 募集状況

令和5年度入学者数（令和5年5月29日現在） 昨年対比

ICT システム・デザイン科	20	内訓練生4	-6名
医薬サポート科	22		+1名
歯科衛生士科	19		-10名
国際ビジネス科	0		-3名
日本語科	24		+13名 ※4月生の比較
合計	85		-5名

## 4 就職状況

就職（進学）状況（令和5年5月29日現在）

	卒業者	就職希望	就職者	進学他	就職率
ICT システム・デザイン科	16	15	14	1	93%
医薬サポート科	14	13	13	1	100%
歯科衛生士科	22	22	22	0	100%
国際ビジネス科	11	9	8	2	89%
日本語科	0	0	0	0	—
合計	63	59	57	4	97%

## 5 役員会

令和4年 5月27日 令和4年度第一回評議員会・理事会

令和5年 3月31日 令和4年度第二回評議員会・理事会

以上